

佐布里公園(愛知県知多市)花の館につるシステムを設置!

今回は、「つる」システムの話です。建設中の中部国際空港も近くにある愛知県知多市佐布里地区に市が整備を進めている「緑と花のふれあい公園」の一角に、本年2月鑑賞温室(花の館)がオープンし話題を集めています。この温室内展示施設の一つとして弊社「つる」システムを採用いただきました。公園は、佐布里池周辺の自然や景観を生かした余暇活動や体験の場を提供し、緑化や梅に関する情報を広く紹介する参加体験型施設として整備が進められているもので既に昨年度オープンしていた梅の館に続いて本年度花の館、バックヤードの育苗温室が建設されたものです。花の館はガラス張りの鉄骨

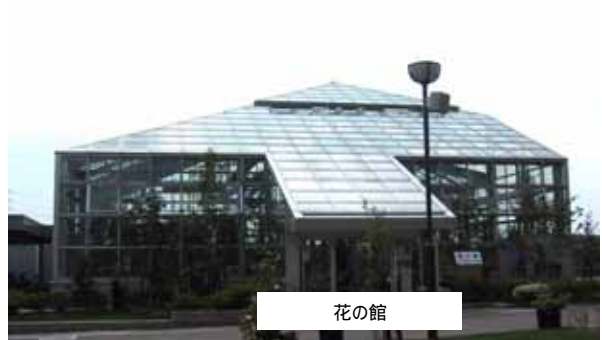
平屋で広さ340㎡、歩きやすいように床面インターロッキング仕上げになっており、ひな壇状にしたらえた花壇部分にプリムラやマーガレットなど10種約4,000株の草花、コンテナ植えしたアレカヤシなど約160本の樹木に混じって、弊社納入のハンギングバスケット「つるシステム」12鉢が天井から吊り下げられており、入館者は、これらの景観を楽しみながら歩いてもらえるようになっています。鉢には開園直前の1月末まで弊社農場内で育成していた赤・白・紫と3色のサフィニヤを植え込んでいます。納入時50cm程度のサフィニヤが現在では2m近くとボリューム豊かな姿に成長してきており、来場者を楽しませてく

れています。年4回季節に合わせて展示テーマを考え植栽は変更していく運営を考えておられますが、弊社のサフィニヤは通年展示で、成長していく形を楽しんでもらうという考え方です。バックヤードの育苗温室では苗を作り自給自足体制構築をされています。納入後3ヶ月を経過しましたが、見栄えもいいし、管理も楽でと大変喜ばれています。四季おりおりの花が楽しめますし、写真にもあるようにトピアリー(花人形)も設置されていたりと楽しめます。お近くまでいかれる機会がございましたら、入場料無料ですのでぜひ覗いてみて下さい。

(営業技術 川村庄一)



梅の館



花の館



トピアリー(花人形)



納入直後の状態



現在の状態